

| | | | |
|-------|------------------------|-------------|------|
| クラス番号 | 332 | 担当教員名 | 林 祐介 |
| | | 他専修学生受入上限人数 | 0名 |
| テーマ | 医療・福祉現場での社会福祉専門職の役割を学ぶ | | |

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

毎回、テキストや配布資料を用いた全員参加型のゼミを開催することを基本とします。テキストや配布資料の内容を確認・共有しつつ、それぞれが感じたこと・考えたことを、ゼミ生全員が報告します。出席者にはゼミ内で最低1回は発言してもらえるような機会を設けることで、プレゼンテーション能力の習得を目指します。一方、3・4年生を対象にした医療専修企画が年に数回開催されるため、開催時期に合わせて企画に向けた準備を行うこともあります。上記以外にも、ゼミ生による学生企画の提案があれば、積極的に取り入れていきたいと考えています。

なお、準備学習として、回ごとに指定されているテキストは必ず一読し、前もって感じたこと・考えたことを整理しておいていただければと思います。3年次には、課題レポートを半期に1回課すことを予定しています。4年次の卒論指導時には、論文草稿を定期的（1～2カ月に1回のペース）に提出してもらう予定ですが、社会福祉士国家試験の勉強などに専念できる環境を作るために、できる限り早期の完成を目指していきます。

授業計画：

私のゼミでは、医療・福祉現場の実態とそれに関連する内容の学習を通して、将来医療・福祉現場で社会福祉専門職として働く上で必要な能力を身に付けることを目的とします。具体的には、文献学習やゼミ討論を行い、医療・福祉現場での社会福祉専門職の役割を理解し、自分の言葉で説明できることを目標とします。加えて、担当教員による添削を含めたレポート指導を行うことで、文書作成能力の習得を目指します。

3年時の前期テーマは、「リハビリテーション学の視点を学ぶ」です。テキストは、上田敏『リハビリテーション—新しい生き方を創る医学』（講談社）を使用する予定です。3年時の後期と4年次の前期は、卒論に向けた準備と執筆に重点を置きつつ、「医療・福祉現場の実態について広く学ぶ」ことをテーマとします。4年次の後期は、これまで学んだことを踏まえつつ、「患者（当事者）視点の重要性を学ぶ」ことをテーマとします。テキストは、山口育子『賢い患者』（岩波書店）を使用する予定です。

担当教員からのメッセージ

ゼミテーマ&ゼミ活動の内容を踏まえると、将来医療現場で社会福祉専門職として働くことを希望する学生、医療分野に興味・関心のある学生が対象になると考えますが、医療ソーシャルワーカー志望者でなくても大丈夫です。内容的には、高齢分野や障害分野に興味・関心のある学生にも、十分対応できるゼミだと思います。一方、医療ソーシャルワーカー志望者には、社会福祉士合格を目指すことを義務付けます。医療ソーシャルワーカーとして就職する上で、社会福祉士資格を有することを必須としている医療機関が多いためです。担当教員という立場から、就職活動や国家試験の勉強方法の相談を含めて、誠心誠意サポートさせていただければと思っています。